

令和4年度 学校の教育活動に係るアンケート集計について(報告)

岐南町立西小学校

今年度から、羽島郡二町教育委員会の方針と重点の評価項目について「教職員」「児童」「保護者」による評価を7月と12月に実施した。とても良いを4点 良いを3点 おいしいを2点 とても惜しいを1点として、全回答を平均して、4点を100%とした場合の割合を算出した。70%未満を課題と考えて赤系の色、90%以上を成果と考えて青系の色を着色した。また、7月から12月への増減を示した。

※教職員と児童との評価が必ずしも一致するわけでもないし、保護者の評価とも一致しない項目を課題と捉え、次年度の方針を検討していく。具体的には、赤系の吹き出しで記す。

教職員				児童				保護者				今後の方針
	7月	12月	増減		7月	12月	増減		7月	12月	増減	
授業づくり	73.9%	74.0%	0.1%	授業意欲	78.5%	80.8%	2.3%	授業意欲	73.1%	69.9%	-3.2%	全教科で、毎回の授業のねらいを明確にし、その時間に学ばせたいことを絞って活動をし、授業の早い時間のうちに課題をつくり、1時間の授業の見通しを視覚的に示すこと、1時間の中心場面を確認することを徹底する。
家庭学習指導	73.8%	70.7%	-3.1%	家庭学習	77.0%	79.2%	2.2%	家庭学習	70.8%	69.8%	-1.0%	全学級において、従来のカード・ケド中心の宿題から、タブレットやパワーアップノートを活用したより主体的な家庭学習に段階的にシフトしていく。保護者への説明も行う。
思考力指導	75.0%	75.0%	0.0%	思考力	83.4%	83.7%	0.3%	思考力	74.9%	71.5%	-3.4%	全教科、全領域において、ペア学習やグループ討議など、仲間と関わり合い、考えを比べたり、深めたりする場面を増やしていく。
生活リズム	81.8%	81.0%	-0.8%	生活リズム	89.8%	92.1%	2.3%	生活リズム	86.8%	87.0%	0.1%	栄養教諭による食育の授業や養護教諭による健康づくりの授業や啓発を通して、児童と保護者の意識を高めていく。
英語学習	60.3%	63.8%	3.5%	英語学習	72.3%	76.7%	4.4%	英語学習	76.3%	76.6%	0.3%	ALTや英語専科の授業でのオールイングリッシュの楽しい活動時間を増やしていく。
特別支援	79.3%	79.8%	0.5%									特別支援教育コーディネーターの複数性を生かしたケース会や支援計画の実践、特別支援教育主任による二職員研修を重ね、実践的な支援に生かしながらスキルを高める。
自己充実感指導	83.7%	82.7%	-1.0%									各学級で行っているよいことみつけをはじめとする、仲間のよさやがんばりを認め合う取組が形式化しないよう、折々で価値づけしていく。
願いを実現する指導	77.2%	76.0%	-1.2%	学級づくり	83.9%	86.9%	3.0%	学級づくり	82.2%	80.4%	-1.8%	児童会・学年リーダーが明確な目標をもって仲間への働きかけを行い、学級等でそれについて話し合い、協力しながら努力していく過程を大切に指導を丁寧に行っていく。
自律的な活動	73.9%	74.0%	0.1%	学校自慢	81.2%	83.8%	2.6%	学校自慢	76.9%	75.2%	-1.7%	「あじさい活動」を継承発展させていくための具体的な取り組みを児童自身が創り出し、実践して成果を確かめ、みんなで喜び合う過程を大切に指導を丁寧に行っていく。
自己指導能力	85.9%	85.6%	-0.3%	目標に向かう意思	83.3%	86.5%	3.2%	目標に向かう意思	73.7%	72.5%	-1.2%	授業や行事の中で、児童一人一人が活躍する機会を意図的に作り、よさを積極的に見つけ、本人と学級集団へ肯定的評価として返し、ステップを重視する。
いじめ対策	83.7%	83.7%	0.0%	いじめ対策	86.3%	87.2%	1.0%	いじめ対策	80.6%	80.0%	-0.6%	いじめ防止基本方針を全教職員が熟知して指導・支援に当たることができるよう研鑽を積み重ね、いじめ防止について考える日の充実、いじめ0アンケートやここにアンケートの確実な実施と素早い対応を徹底する。また、ネットモラルについての授業を全学年で再度行う。
地域交流	59.2%	60.2%	1.0%	地域交流	79.9%	77.8%	-2.1%	地域交流	70.0%	68.1%	-1.9%	新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、できる範囲で積極的に地域の方を招いた授業や行事を企画していく。
ボランティア	66.3%	81.7%	15.5%	ボランティア	72.5%	72.7%	0.2%	ボランティア	64.1%	63.5%	-0.5%	ボランティア手帳の取組を積極的に進め、がんばっている児童を認め励ましていく。
言葉遣い	81.5%	76.0%	-5.6%	言葉遣い	85.5%	85.9%	0.4%	言葉遣い	72.8%	70.7%	-2.1%	「ほかほか言葉」について話し合う学活を全学級で設けると共に、学年や児童会の取組を通して、人権を尊重する気風を作っていく。
健康管理	81.3%	76.0%	-5.3%	安全意識	94.8%	95.3%	0.5%	安全意識	79.7%	80.2%	0.5%	アレルギー対応の必要な児童を確実に把握し、特に給食時の誤食を防ぐための三重チェックを徹底する。
学校防災体制	83.7%	74.0%	-9.7%	安全(自転車)	92.7%	92.0%	-0.7%	安全(自転車)	93.8%	93.1%	-0.8%	様々な設定での訓練を行うと共に、防災・減災についての知識を学ぶ時間を発達段階に応じて全学年で実施する。
目の命を自分で守る	80.7%	84.6%	3.9%	安全(歩行者)	89.6%	91.3%	1.7%	安全(歩行者)	72.6%	72.6%	0.0%	3年生対象に行った交通安全教室の内容を、全校児童へ伝えたり、交通安全についての知識を学ぶ時間を発達段階に応じて全学年で実施したりする。
施設の整備	70.0%	81.7%	11.7%	安全(ルール)	92.9%	93.8%	0.9%	安全(ルール)	85.6%	84.0%	-1.7%	施設、遊具の点検を「手」「目」「耳」で確実にし、不備があれば直ちに報告して対処するよう徹底すると共に、安全な過ごし方・遊び方指導を丁寧に行う。
情報活用能力の育成	79.3%	62.5%	-16.8%	ICT	85.9%	87.2%	1.3%	ICT	69.2%	68.0%	-1.2%	毎週のICT推進委員会を通して、苦手な教員であっても積極活用できるようにスキルアップを図る。授業でロイノートやきふwebラーニング等を積極的に導入する。
								授業	75.4%	76.6%	1.2%	学習指導部会が、主導して提案し、授業改善を図る。
								家庭学習指導	73.1%	75.8%	2.7%	保護者にも宿題やパワーアップ学習の取り組み方が分かるように通信などで知らせ理解を得る。
								あいさつ指導	79.8%	80.4%	0.6%	家庭、地域での協力を得て挨拶指導が実現している。引き続き連携して行う。
								周知	83.6%	84.4%	0.8%	すぐでなく、HPや子どものタブレットのTeamsなどを利用して、伝達していく。必要な物は印刷して配付する。
								連携	78.8%	81.0%	2.2%	PTA、学校運営協議会を通して、保護者や地域ボランティアに教育に携わっていただいている。主体的に協力して下さる方は、増えていっている。
								環境整備	72.9%	74.9%	2.0%	夏休み前に全職員で実施した各教室や昇降口などの整理整頓を継続していく。声の多いトイレ改修については、次年度から2か年計画で実施される。
								対応	80.9%	81.2%	0.3%	働き方改革のおかげで、職員が以前より子どもの相談に乗る時間を作る余裕ができた。
								ほめ育て	83.8%	85.3%	1.5%	授業終了や帰りの会のよいこと見つけをどの学級にも位置付けて実践している。全校の放送でもよさを広める内容を送るようにしている。
								安全配慮	83.7%	82.1%	-1.5%	学校安全教育計画や「危機管理マニュアル」を毎年度更新して、職員が共通して安全教育・管理に努めている。

コロナ禍で、人との接触制限をしたため、できなかったことが影響している。次年度からは、Withコロナの新しい対応をする中で、地域の方や異学年とのふれあいを取り戻す方策をとる必要がある。

安全面では、意識できているという自己認識があるが、油断を生む心配があるため、安全教育の継続指導が必要である。

児童の自己評価が、全体的にほとんどの項目でよくなっている。学習面、生活面、仲間づくりの面でよくなっている実感を持っている子どもが多いことは指導の成果と言える。